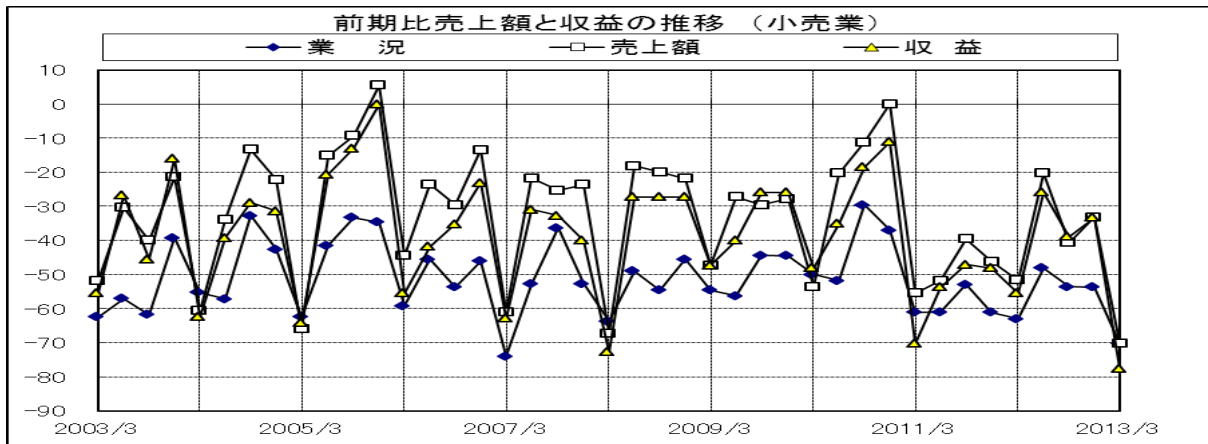


## 小売業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業況	-53.6	-53.7	-70.3	-48.1
売上額	-40.7	-33.2	-70.3	-24.1
収益	-38.9	-33.3	-77.7	-37.0

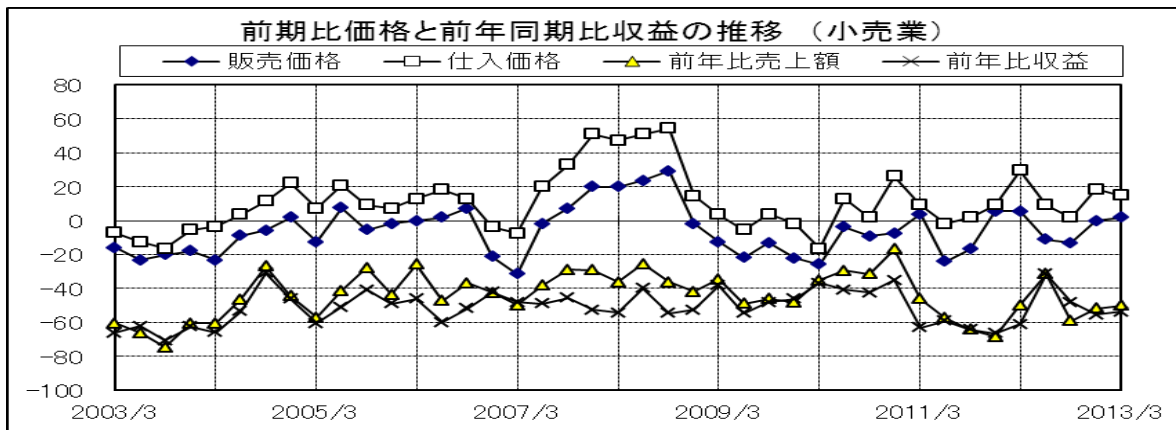
今期の業況判断DIは△70.3と、前期比16.6ポイント下降した。地区別にみると、浦河、静内、三石、えりも地区で下降、様似地区で上昇している。広尾地区はほぼ横ばいとなっている。売上額判断DIは△70.3と、前期比37.1ポイント下降した。収益判断DIは△77.7と、前期比44.4ポイント下降し低下基調を強めている。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	-13.0	0.0	1.8	-5.5
仕入価格	1.9	18.5	14.8	11.1

販売価格判断DIは、ゼロ水準から1.8ポイント上昇した。仕入価格判断DIは14.8と、前期比3.7ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、食料品は販売価格が上昇、衣料品、家電品は下降した。仕入価格は衣料品、食料品、家電品で下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-7.4	-1.9	-14.8	-13.0
人手状況	-3.7	-18.5	-11.1	-7.4

残業時間判断DIは△14.8と、前期比12.9ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△11.1と、前期比7.4ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

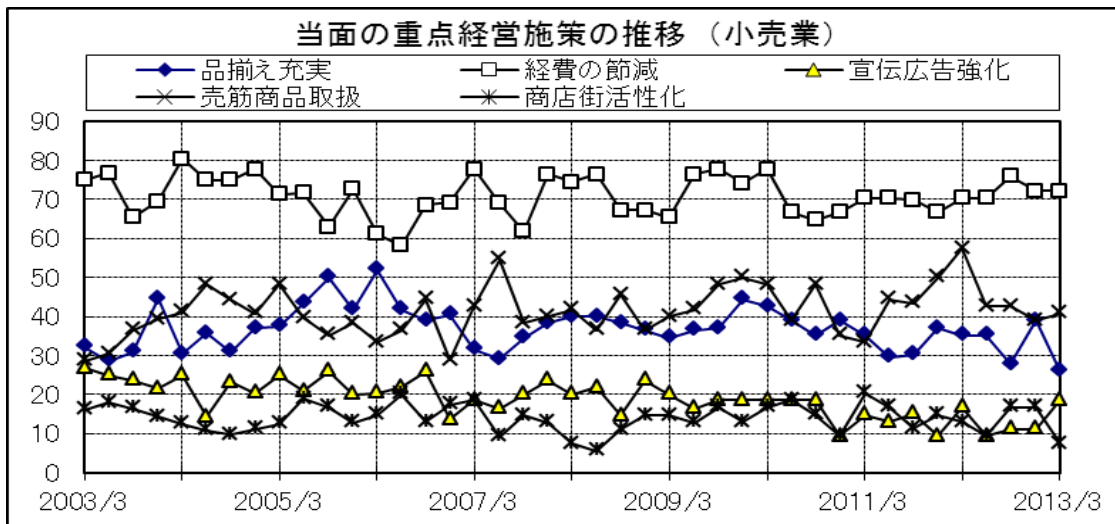
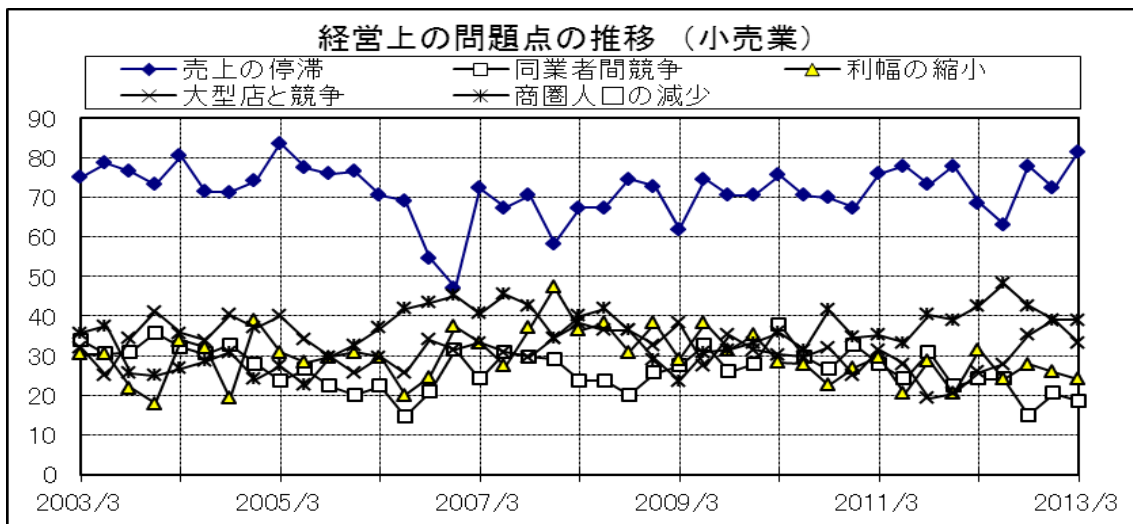
設備投資の充足感を示すD Iは△11.1 と、前期比 5.6 ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は 13.0%と、前期比 3.7 ポイント上昇し前期の 5 社に対し 7 社の実施となった。来期の設備投資は、4 社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ 81.5%、次いで「商圈人口の減少」38.9%、「大型店との競争」が同率の 33.3%、「利幅の縮小」24.1%、「同業者との競争」が 18.5%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 72.2%、次いで「売れ筋商品取扱い」40.7%、「品揃えの充実」25.9%、「仕入先を開拓選別」20.4%の順となっている。



## □ 来期の見通し

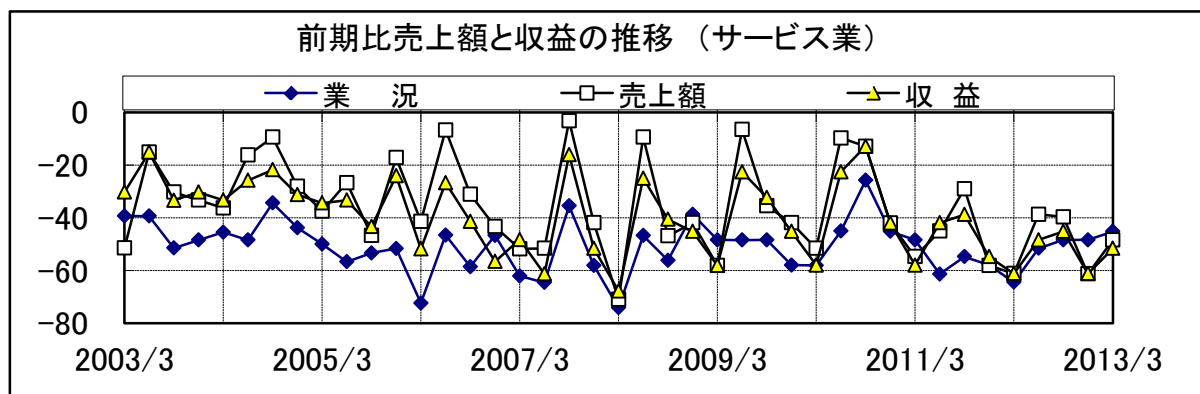
来期の予想業況判断D Iは△48.1 と、今期比 22.2 ポイントの上昇を見通している。予想売上額判断D Iは△24.1 と、今期比 46.2 ポイントの上昇を見通している。予想収益判断D Iも△37.0 と、今期比 40.7 ポイントの上昇を見通している。予想販売価格判断D Iは△5.5 と、今期比 7.3 ポイントの下降を見通している。予想仕入価格判断D Iは 11.1 と、今期比 3.7 ポイントの下降を見通している。

## サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-48.4	-48.4	-45.2	-32.3
売上額	-38.7	-61.3	-48.4	-6.5
収 益	-45.2	-61.2	-51.6	-13.0

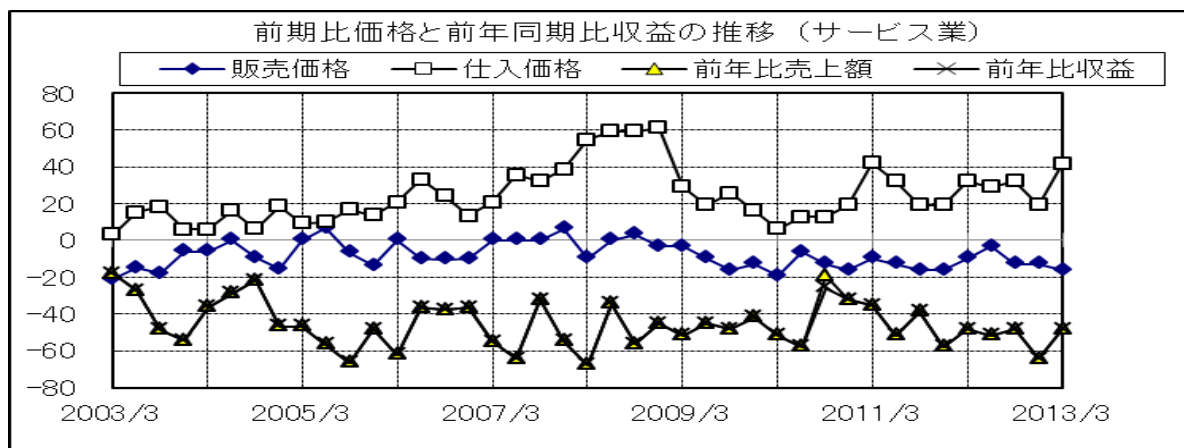
今期の業況判断DIは△45.2と、前期比3.2ポイント上昇した。地区別にみると、浦河、えりも、広尾地区で上昇し、静内、様似地区は下降となった。三石地区は横ばいとなっている。売上額判断DIは△48.4で、前期比12.9ポイント上昇した。収益判断DIは△51.6と、前期比9.6ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	-12.9	-12.8	-16.2	-6.4
材料価格	32.3	19.4	41.9	19.4

料金価格判断はDI△16.2と、前期比3.4ポイント下降した。材料価格判断DIは41.9と、前期比22.5ポイント上昇し、価格上昇基調を強めている。業種別にみると旅館・自動車整備業は、料金価格は横ばい、材料価格は上昇した。洗濯理容業では料金価格は下降、材料価格は上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-29.1	-19.4	-25.8	-16.2
人手状況	-3.3	-6.4	-16.1	-22.6

残業時間判断DIは△25.8と、前期比6.4ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断DIは△16.1と、前期比9.7ポイント下降し人手不足感を強めた。

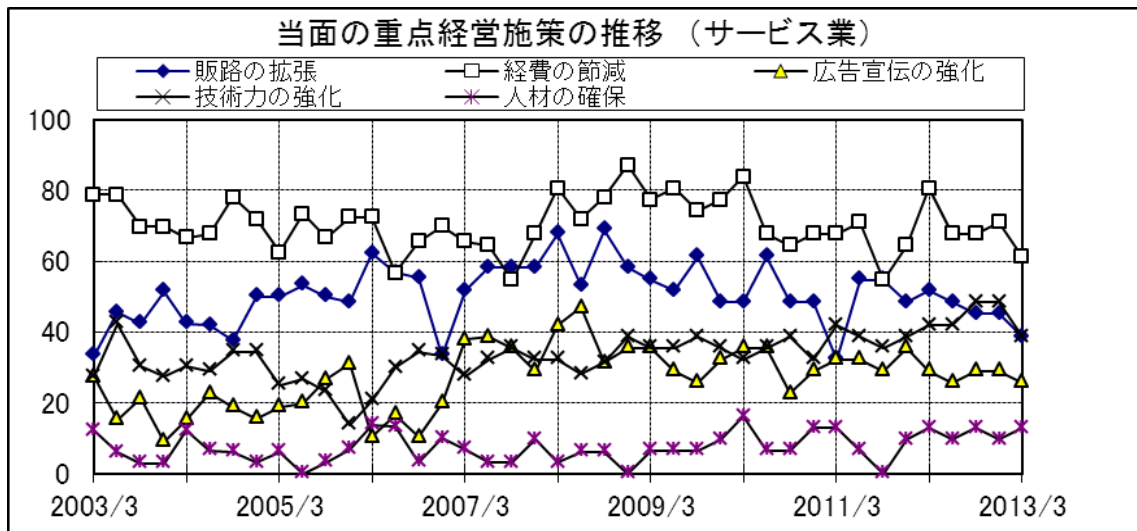
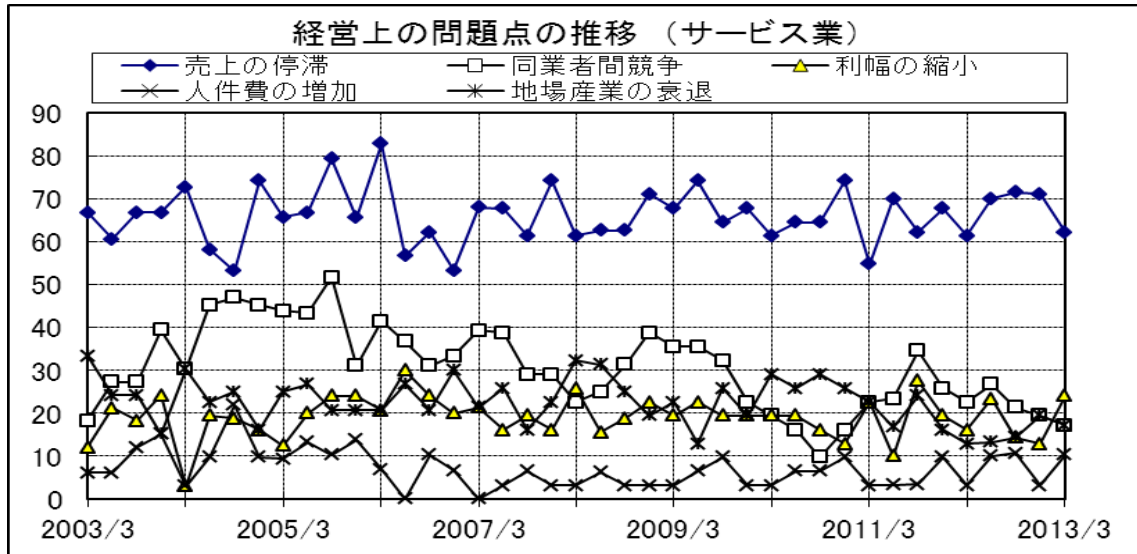
### □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△32.3と、前期比12.2ポイント下降し不足感を強めている。設備投資実施企業割合は19.4%と、前期の9社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

### □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ62.1%、次いで「商圏人口の減少」37.9%、「材料価格の上昇」31.0%、「利幅の縮小」24.1%、「同業者との競合」「地場産業の衰退」が同率の17.2%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ61.3%、次いで「技術力を強化」「販路を拡張」が同率の38.7%、「宣伝広告の強化」25.8%の順となっている。



### □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△32.3と、今期比12.9ポイントの上昇を見通している。予想売上額判断D Iは△6.5と、今期比41.9ポイントの上昇を見通している。予想収益判断D Iは△13.0と、今期比38.6ポイントの上昇を見通している。予想料金価格判断D Iも△6.4と、今期比9.8ポイント上昇し、価格低下基調が弱まる見通しとなっている。一方、予想材料価格判断D I 19.4は、今期比22.5ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。